

市報
とよかまち

6/10 No.500
1998年・平成10年

●発行/十日町市役所
〒948-8501新潟県十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 0257-57-3111 FAX 52-4635
Email tokamachi@nsv1.tiara.or.jp
URL http://www.tiara.or.jp/tokamachi/
●編集/企画人事課広報広聴係

▶500号特集 市民に役立つ広報紙づくり——1~11

- ▶トレーニング室の利用——12
- ▶リゾート環境モニタリング調査——13
- ▶市民のページ——14・15
- ▶スポーツNEWS——16・17
- ▶お知らせ・インフォメーション——18・19



座談会

市民に役立つ広報紙づくり

私たちが診断する

市報とおかまち

「市報とおかまち」第500号をお届けします。第1号は昭和31年5月に発行しました。回を重ねれば当然500という数字になるわけですが、編集担当としては大きな節目と受け止め、多くの皆さんから日ごろ感じていることをお話しいただき、それをもとに勉強し、市報の役目である皆さんと市を結ぶパイプを、さらに大きな輪に広げようと特集を組みました。2〜7ページの8人の皆さんとの座談会（5月27日水、市長室で開催）、8〜11ページの15人の皆さんの声、そしてアンケート（今月号の中に別刷りで綴じてあります）です。お読みいただき、大勢の皆さんからのご意見をお待ちしています。

堀内 節夫さん
（新潟日報社十日町支局長）



滝沢 正晴さん
（川治小学校校長）



桑原 光江さん
（ゆずり葉グループ代表）



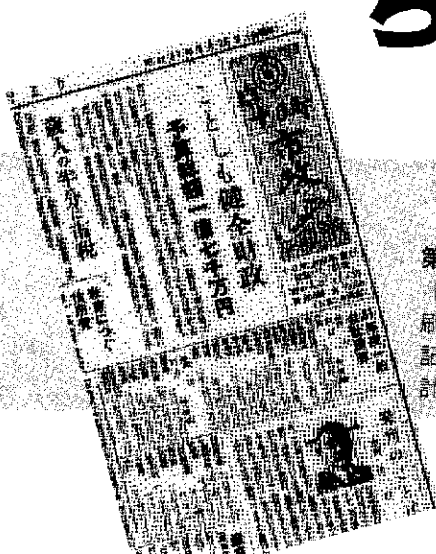
ちかこ
開発 周子さん
（朗読サークル会員）



山田 慎一さん
（広報げじょう編集委員長）



野本 国秀さん
（週報とおかまち社記者）



第1号（昭31.5.25）

「市政だより」発行。表裏刷りの2ページ。トップの記事は31年度予算、一般会計は1億7千万円。



本田市長 批判、意見を聞くために発行

「十日町市政だより」として昭和31年5月に第1号を発行しました。当時の山口市長は発行の言葉に「市民の皆様から市政について十分理解していただくと同時に、市政に対する皆様の批判、ご意見を聞かせていただく資料として発行します」と書かれています。その後、35年8月には「市報とおかまち」と名称を変え、50年11月からは「市報とおかまち・お知らせ版」を発行し、今と同じ10日と25日の月2回の発行になります。

お知らせ版の発行は、各課からの文書や回覧をひとまとめにして皆さんにお知らせしようとしたわけですが、平成7年4月からは、お知らせ版も「市報とおかまち」としました。これは月2回タイムリーに特集的な記事を出したいという考えによります。

主人公は市民です。その皆さんから市政に参加していただくためのパイプが市報をはじめとする様々な広報広聴活動です。「市民と語る日」「市長への手紙」「暖和室」「市役所業務紹介講座」などを行っています。一番の柱は市報です。6月10日号がちょうど500号になりますので、これを節目によりお役に立つ市報づくりを進めたいという思いがあり、本日お集まりいただきました。忌憚のないご

指摘を期待しています。

全体の印象、感想は

はじめに「市報とおかまち」の全体の印象、感想についてお聞かせください。

堀内さん 総花的な感じも受ける

全体的な印象は、よくできていますね。大勢の方を取材していますから親しみやすいし、お知らせページも多くの情報を伝えようといった姿勢が見て取れます。広報紙に載せる情報としては、すべて網羅されていると思いますが総花的といった感じも受けます。

野本さん メリハリに物足りなさ

私も全体的にはよくできている市報だと思いますが、堀内さんが総花的と言いましたけれど、紙面のメリハリの点で物足りなさがあるんじゃないでしょうか。

滝沢さん レイアウトに注意を

身近な情報がたくさん載っており好感を持っています。読んでいて思いますが、レイアウト（紙面の割り付け）や写真の使い方などに注意すればより見やすい好感のもてる市報になるのではないのでしょうか。

山田さん 市報を参考にしながら編集

表紙は顔だと思えますので表紙のデザインと、大勢の市民が登場する連載ものを興味を持ちながら読んでいます。情報をよくまとめているなど関心しながら、市報を「広報げじよう」を編集する時の参考にしています。

桑原さん 市民の登壇が読む張りの合い

ゆずり葉を読んでくださるお年寄り、市

報もよく読んでいます。「今日は、だれそれが、こんなふうに乗っていた」などの声をよく聞きます。市民の方たちがいろんな形で登場していますよね。それが市報を読む張り合いになっているのかなと思います。

開発さん まず健診などの日程を見る

長岡市から嫁ぎました。来たばかりの時は両親と同居でなく昼間は一人でしたから、市のことが何もわかりませんでした。ですから市報が一番の頼みでした。子供ができてからは、健診や予防接種などの日程を一番最初に見るようになりました。朗読サークルに入るキツカケも市報で知ったからなんです。

特集の取り組み方は

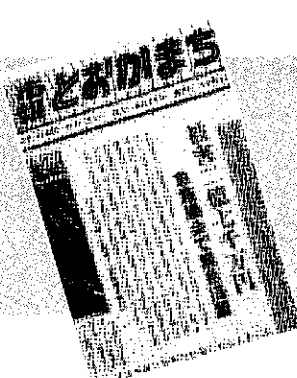
市報とおかまちは、大きくは三つに分けた内容で編集しています。一つは市が計画しようとしている、あるいは進めている事業や市の課題について市民の声を取材しながら紹介する「特集」のページ、二つ目は各課の情報を紹介する「お知らせ」のページ、三つ目は市民に登場していただく「連載もの」のページです。なかでも特集が一番の柱になります。そこでまず、特集に対する取り組み方についてお話を進めたいと思います。

野本さん リーダーシップを示す特集を

今、十日町市は不景気風が吹き、地場産業の織物業、建設業、商業などが大変な状況にあります。こうした状況の中、どうすれば生き延びられるのか、発展できるのかといった特集を手がけていただきたいと思います。市はリーダーシップをとっているわけですから、市民は期待しているはずです。



第198号（昭48.4.15）
発行時期の写真、詩、月間行事の組み合わせによる表紙の定型化。



第46号（昭35.8.15）
「市報とおかまち」に改称。トップの記事は7月の豪雨で被害額2億7千万円。



わが社では大きな事業、たとえば市や地域の将来を左右するような事柄については各層の人たちの意見を取材しながら特集として取り上げています。その際、事業の生かし方、また違った活用もあるのではないかとという観点で踏み込んで書くことを心がけています。

滝沢さん 元氣、期待を伝える特集を

特集を組む場合、市の方針や市民の願いが起点になると考えます。野本さんも言いましたが、市は指導的な立場にあるわけですから市民に元氣が出るような、将来に期待が持てるようなテーマを特集として取り上げることが大切ではないでしょうか。

3月10日号で「防犯協会の設立」についての特集がありました。これをどのように取り上げるか。明るい話題に、住み良い町にするためのイメージを市民に伝える必要があるわけですが、物足りない感じがするんですね。具体的に言えば、①設立に対しての大人や子供の意見が欲しい。②ぱっと見て2ページと3ページが違ふ内容のページに見える。③文章にあるよい言葉を見出しに使った方が訴えるのでは、そんな感じを受けました。



桑原さん お年寄りの生活を紹介して

特集記事は文章が難しくなるような気がしています。長い文章を読むのは大変です。文章を簡略にすること、カタカナ言葉を少なくすることを願います。

ゆずり葉では毎年8月に、「語りつく、あの日あの時」というテーマで戦争体験の文章を寄せてもらいます。戦争の記録を元氣なお年寄りに残してもらいたいという理由で続けています。今年も掲載する予定です。市報でも、お年寄りが一生懸命に生活している様子を紹介していただきたいと思っています。

本田市長 特集を通して話し合い

リーダーシップというお話がありました。市民に知っていただきたいこと、逆に市民が知りたいことを取り上げて、そこから市民との間に話し合いが生まれる仕掛けづくりは特集の役目だと思っています。たとえば「情報館のことがわからない」。そんな声を聞くことがありますが、実は2回ほど取り上げています。ですから読まれていないのかなという残念な思いもあります。市報はぜひ読んでいただきたいと思っています。



近隣6市町村で計画している「里創プラン」についても、地域の活力を左右する新しい事業ですからお伝えしていかなければなりません。記事を読んで理解していただく、また実際に事業を進めながら目で見ていただき理解していただく、こうした両面から仕事を進めることが大切であると考えています。

開発さん やる気を応援する特集を

結婚する当時、着物を着る機会が増えるのではないかと楽しみにしていましたが、着物屋さんも少ないし、外からは着物産業の町だということがわからないんですね。とても残念に思っています。今でも「雪ときもの町」というキャッチフレーズがあるんですから、着物を紹介していただきたいと思っています。それに主婦の立場としては子育て、教育、介護といった問題、また子供たちに住み良い生活を残すために環境や資源のリサイクルといった問題も取り上げていただきたいですね。できることは自分ですという人たちが多いと思います。そうした人たちを応援するような特集を期待しています。



第238号 (851.8.10)
初めてのイラストの表紙。題材は妻有の民話「天狗さまをだました話」



第1号 (8350.11.25)
「お知らせ版」を新たに発行。4ページの記事は市の人口5万211人(国勢調査概数)。

山田さん 人と人をつなぐ特集を

市報には大勢の市民が登場し、いろいろな分野でがんばっている様子を紹介しています。そうした人たちが交流できるような特集をして欲しいと思っています。

「広報げじょう」は52年5月の発行です。21年になります。地区の公民館、振興会、婦人会、体育協会で別々に発行していたものを情報を一本化して全世帯に伝えようと始めた聞いています。大勢の人たちの気持ちを伝える、また下条の記録を残す紙面づくりをしているつもりですが、どうしたら興味を持ってもらえるかといつも悩んでいます。

堀内さん 読者はそこに住む皆さん

日刊紙の読者は不特定多数の方ですが、広報紙の読者はそこに住んでいる皆さんです。滝沢さんも同じ意味のことを話されましたが、あくまで市民の側に立つて編集することが基本だと考えます。ですから編集する皆さんが十日町市の職員という立場を離れ、一市民の立場から見ることにより新しいテーマを探すことも必要なことではないでしょうか。

今、各市町村は介護保険制度の準備が大変ですが、行政側だけでなく市民も考えなければならぬ問題です。また、市長さんが里創プランについて触れましたが、十日町市は東頸城を含めた広域圏のリーダーシップをとる立場にありますから、介護保険や広域圏についての特集は必要になるでしょうし、内容によつては何回かの連載といったケースも出てくるでしょうね。

読んでらる市報にふりかへ

特集のお話の中でも紙面について具体的に指摘をいただきましたが、ビジュ

アルという言葉があります。読みやすさと言いますか視覚的に引きつけるということです。これも市報を読んでいただくための大切なポイントです。次にこの点についてのお話をお願いします。

開発さん 少しおしゃれな紙面に

子育てのために朗読サークルを休会していますが、サークルでは毎号の市報を90分のカセットテープに吹き込んで、目の不自由な皆さんに利用していただいています。座談会に出席するために会員の方から聞いてきたのですが、専門用語が多い、固有名詞には振り仮名が欲しいといった声がありました。ページ数や市報という制約はあると思いますが、少しおしゃれな紙面を期待します。若い人の読者も増えるのではないのでしょうか。

参考にしていただければありがたいのですが、写真やグラフ、図も説明しています。たとえば6月10日号表紙の「ルチアお披露目式」の写真であれば、「真ん中にコモ市から贈られたルチアがあります。ルチアの中は花で飾られ、コモの民族衣装を着た若い男性と女性

微笑みながら腰掛けています」と、そんなふうにテープに吹き込んでいます。

山田さん 文章は短く写真でカバー

「広報げじょう」は2か月に1回発行しています。ボランティアの集まりなものですから、編集時間も取りにくいですが、また内容を濃くするために各世代の人たち、とくに若い人や女性の参加を期待しています。

ビジュアル化ということでは、文章は短く、その不足分は写真でカバーしようかと独断と偏見で写真を多く載せるようにしています。前回の表紙は地区の「雪まつり」を3枚の組写真で載せました。四角の写真ばかりでなく丸や三角の写真もこれからは使おうかなんて言っています。その場の雰囲気や表情がでれば、いつもそばに置いて見てくれるのではないかという思いがあります。

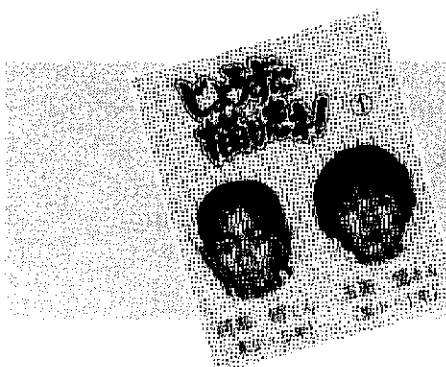
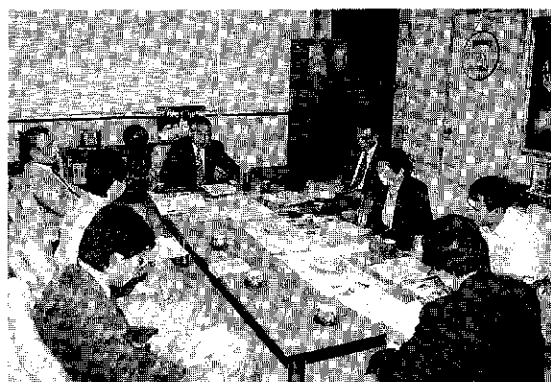
桑原さん イラスト、書き文字も使う

ゆずり葉は手書きが中心ですが、ワープロ文字にすることもあります。そうするとお年寄りからおもしろくないと言われます。持ち味が薄れるようなんですね。ことに、表紙のイラストや手書きの文章は好評です。市報も一部にイラストや手書きの文字を使ったら親しみが増すのではないのでしょうか。

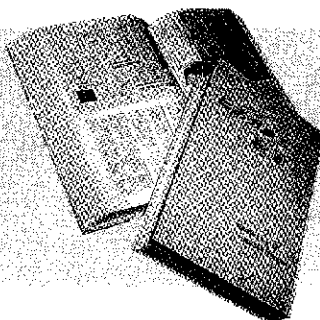
見やすさということなのでしょうが、カラーの広報紙もありますよね。私たちは経費の関係もありカラーになんてできませんが、紙の色を変えて季節感を出しています。広報紙は何度も読み返す種類のものでありませんから、私たちは単色で十分だと思っています。

滝沢さん 紙面を組み替えて勉強を

目で見て読んでいくことを考えると、表紙



第339号 (8860.1.10)
裏表紙を定型化。「じょうずに描けたネ」「話題の人」など市民登場の連載スタート。
じょうずに描けたネ／は第500号でNo.159。



縮刷版発行 (8857.3)
「市報とおかまち」1号～302号、「お知らせ版」1号～185号を集録。

を見て次のページをめくる気持ちを出させる工夫が必要でしょうね。それゆえ表紙は顔と言われるわけです。それから全ページの流れも考える必要があるかと思っています。

先ほども具体的な話をしましたが、5月25日号の表紙写真は「わんぱく相撲」ですね。元気な子供たちが載るのはいいことなんです。が、明るい表情がないですね。必死に声援を送っているとか、拍手をしているといった写真が欲しかったですね。また、取材した市民の写真は単なる顔写真が多いようですが、その人が活動している写真や取材中の様子がわかる写真にした方が紙面が生き生きすると思います。文章や写真、グラフなど、ちょっとした組み合わせで紙面は変わりますから、発行した紙面を切り取って組み替えてみることも勉強になるのではないのでしょうか。

野本さん テンポよく読める文章に

新聞と違い市報は「です。ます」と丁寧語を使っているわけですが、丁寧語が嫌みにならないような注意が必要だと思います。新聞のように「である」調の方が、読み手にとってはテンポよく読めると思うんです。ですからその辺にも注意し、わかりやすい言葉で短めに書くことが大切でしょうね。

日刊紙やスポーツ新聞は紙面が大きいですが、レイアウトも大胆にでき、見出しも大きく表現もうまいですね。市報の場合は紙面が小さいわけですが、日刊紙の良さを取り入れる必要もあるように思います。それに絶対あつてはならないことが訂正文です。作業時に一人でも多くの人からチェックしてもらって、また鵜呑み（うゑのみ）をしないで疑問があつたら調べるという心がけが必要だと思います。

堀内さん わかりやすい言葉や表現で

表記についてはルールがありますが、なかなか完璧にというのは難しいと思います。私たちは「記者ハンドブック」に基づいて作業を進めています。が、学習教材としても利用されますので、小学校高学年から高校生にも理解できる言葉や表現を使うように努めています。それと差別用語は使っちゃいけませんね。わかりやすい言葉といえ、とかく市町村長さんのあいさつ文等は難しい言葉が使われがちですが、了解を得てわかりやすい言葉に言い換えるべきだと思います。

本田市長 情報を増したり、内容を濃く

文章表現、レイアウト、写真など、具体的にお話いただいたことは大変参考になりました。発行後に紙面をチェックすることは必要なことだと思います。

紙面のカラーというお話もありましたが、私としては今のところ同じ経費をかけるのであれば、その分、情報量を増やしたり内容を濃くしようという考えです。単色でも文字色の濃淡に変化をつけたり、レイアウトで



空白部分をうまくとったりする工夫で見やすいものができると思うんですね。また、訂正記事のお話もありましたが、もっともなお話だと思いがらお聞きしました。

連載ものについて

読んでいただける市報ということで、編集の技術的な指摘をいただきました。が、市と市民の皆さんの情報を同時に伝えることにより、読んでいただける市報になると考えています。そのため連載ものに市民から登場していただいています。が、既存の連載ものについて、あるいは新しい連載ものについてお話いただきました。ありがとうございます。

桑原さん きもののまちの連載を

ゆずり葉では、「歌謡曲の40年」を連載しています。内容は歌と当時の時代背景を書いたものですが、歌が皆さんの心をつなぎ、また次回はどんな歌が載るんだろうという期待感をもたせているみたいですね。

市報では10日号裏ページの「十日町市史を読む」を楽しみにしている皆さんが多いですね。開発さんから着物のお話がありましたが、着物の簡単な着付けとか、新しい着物の提案など、きもののまちならではの新しい連載ものがあってもいいと思います。

堀内さん 外の情報をいれたい連載を

新聞社の場合は、社の姿勢等を訴える意味で連載という形でキャンペーンをします。現在は環境問題に取り組んでいます。が、市報の連載ものも、目的や効果を考えながら取り組むことが必要でしょうね。

市報では、25日号の「故郷（ふるさと）」で



第378号（昭63.4.10）
イラストで12か月を紹介する連載スタート。
4月は「残雪の神宮寺山門」



第366号（昭62.4.10）
裏表紙を含め5ページを定型化。市民登場、自然、歴史など12項目の連載スタート。現在の定型化のスタイルができる。

滝沢さん 元気がでる連載ものを

当校では学校だより「川治っ子」のスタイル、内容を一新した「風の子」の第1号を明日（5月28日）発行し、学校区の全世帯に子供たちが配達します。このねらいは高齢化社会の問題が教育の重要な課題になっていますので、「風の子」を手渡すことにより近所のお年寄りに接する地域福祉体験活動として計画したものです。

山田さん 健全育成活動の連載を

先ほどもお話しましたが、地域の歴史や出



市報に対しては、子供たちの健全育成につ

いて目を向けていただきたいと思っています。子供たちを取り巻く環境が変わってきていますから、各地区で取り組んでいる実践活動といったものを紹介してほしいですね。他の地区にとっても参考になると思います。

野本さん 直接担当者が記す連載は

後世に残せるものに力を入れています。地域の歴史や地域を築き上げてきた人々を紹介してきたものを連載後まとめ、たとえば「毒有郷人物傳」として発刊してきました。こうした連載は地域の新聞としての使命の一つであると考え、これからも企画していきたいと思つています。

市報は様々な連載ものがありますが、市の職員が担当している仕事について直接意見を述べるといったものはどうでしょうか。職員の顔が見えて市民にもわかりやすい記事になるのではないのでしょうか。



開発さん 「市史を読む」を物語風に

十日町の歴史がまだよくわかりませんので「十日町市史を読む」は楽しみにしています。子供たちにもぜひ読んでほしいと思いますので、子供向け用に物語風にできないものでしょうか。

今は男性の職員で編集しているそうですが、女性の方からも加わっていただければと思います。男性とは物事の見方や考え方に違いがあると思いますから、紙面の様子や内容的にも変わるのではないでしょう。

本田市長 一つひとつ紙面に生かしたい

原点は、現在の仕事が市民の皆さんのため
 になっているか。これがすべての判断基準で
 す。ですから、皆さんのお役に立っている市
 報かどうかをチェックしていかなければなり
 ません。本日の座談会もそうした機会という
 ことで開かせていただきました。

様々なご指摘は、整理したうえで取り組むことができるものから一つひとつ紙面づくりを生かしていきますので、これからもご意見をお寄せいただきたいと願っています。



第474号(平8.4.10)
定型ページ、表紙タイ
トルを変更。500号にい
たる。



読者の声

市民に役立つ広報紙づくり

望みます こんな市報とおかまち



阿部 真貴さん
(十日町高校3年)

故郷の誇りと活気を、若者に伝えてほしい

十高で生徒会の新聞委員をしています。委員活動は2年生を中心に、約30人で協力しながら年間3回の『十高新聞』を発行します。紙面づくりにあたっては、高校生らしく先生の横顔や各部の活躍など幅広い情報収集を心がけます。

我々高校生は流行に敏感なので、活気のない情報や時代遅れの情報にはあまり興味がもてません。そんな中、市報5月25日号掲載の「市役所業務紹介講座」は市政をわかりやすく解説する画期的な手段だと思います。要望としては市内企業の活躍をもっと取り上げてほしいですね。卒業をひかえ就職活動をする場合にも、企業の横顔は大切な情報です。将来私たちが地元に住み続けるにせよ、就職や進学で離れるにせよ、十日町を誇りに思いたいという気持ちはあります。市報には地元を誇れるような、活気と明るさに満ちた情報を望みます。

市報もカラー化で、読者倍増なんてどうでしょう

出身は東京都中野区。市報には「十日町の人になりました」で私が、「じょうずに描けたね」で2番目の子が出たことがあるんです。予防接種などの保健情報は該当する子供がいることもあって必ず読みます。1か所にまとめて掲載してあるので読みやすいと思います。でも、特集記事などはみだしの拾い読み、ごみ問題などよほど自分で興味がある記事でないと読まないですね。

記事でよく、祭りやイベントが終わると写真を使って当日の内容を紹介することがありますよね。だれか知っている人が出ていないかななんて思いながら読ませてもらっています。写真のことを言えば、生協のカatalogも白黒からカラーにしたら売り上げが伸びたという話があります。経費はかかるでしょうが、市報もカラーを使えば今以上に読者数が増えるのではないのでしょうか。



関口 薫さん
(川原町・39歳)



吉楽 春美さん
(十日町総合高校3年)

活字のあとで、ほっと一息四コマ漫画

私たち十日町総合高校の漫画同好会「マクト」では、十日町高校の漫画研究会と毎月交代で市報25日号の四コマ漫画を描いています。マクトでは会員10人が順番に担当しているんですよ。普段の活動では校内行事のパンフレットや学級新聞などに作品を掲載していますが、大勢の皆さんに作品を見ていただく機会はなかなかありません。そんな私たちにとって市報は作品を広く発表できる大切な場です。四コマ漫画の制作では、それぞれのコマにストーリーをもたせ起承転結をつくりあげること一番苦労します。アイディアがすぐに浮かぶこともあります。筆が止まった時には何日もあれこれと悩みます。

市報の活字を読み終えたあと、私たちの漫画で一息ついていただければ幸いです。市民の皆さん、これからも明るい作品を楽しみにしていただいくださいね。

みだしの工夫で、より読みやすい紙面に

市報が届くと10日号でも25日号でも、まず保健のコーナーに目を通します。3歳の子供がいる母親としての習性なのでしょう。休日救急医などの記事は切り取って、見やすい所にはっておくことも忘れません。「お知らせコーナー」で残念と思うのは、少ない経費の中でやっているのかミニ情報の一つひとつのみだしが小さくて拾い読みをするのには大変なことです。もう一回り大きなみだしを付けてもらえれば読みやすくなると思います。

また、私たちの年代（主婦）からすると「ワンポイント育児相談」的なコーナーが欲しいとも考えます。相談できるように意外と相談できない育児。保健婦さんなどから基本的な育児に関する記事を書いてもらい、連載していただければありがたいなと感じています。



村山 幸子 さん
(新宮 2・35歳)



関口 清吉 さん
(西寺町・74歳)

見当たらなかった、助役・収入役の就退任あいさつ

市報の4月10日号に助役・収入役の就退任のあいさつが載らなかったの、市長への手紙で聞いてみました。5月12日に届いた返事では、「4月25日発行の『市議会だより』の中で紹介しているので重複を避けましたが、大変重要なことなので掲載すべきだと判断し、市報5月10日号に掲載しました。また、旧助役・収入役のあいさつについては退任後時間も経過していたので、本人の了解を得て今回はあいさつを見送りました」とのことでした。

退任のあいさつがないということは、市報上、現在2人の助役・収入役がいることになります。「市議会だより」に載ったからという理由は通らないでしょう。市行政に努力された2人がいつの間にかいなくなったのでは2人に対して失礼です。要職の就退任のあいさつを伝えるのは広報の基本でしょう。

写真の使い方一つで、メリハリのある紙面に

市報で使われる写真は、その場の状況を説明する写真はもちろん大切ですが、その場に参加していた人たちの表情がわかるアップの写真も必要だと思います。紙面に人の自然な表情の写真が1枚でも入れば、その場の臨場感が伝わり、メリハリのきいたイキイキとした紙面になると思います。

市報は内容的に堅い文が多いのですから、写真やイラスト、文字の種類（丸文字やポップ文字など）を工夫して柔らかくすると、もっと親しみやすい紙面になるのではないのでしょうか。また、カラー化について言わせてもらえば、個人的には今の白黒のほうが柔らかくて好きです。でも、雪まつりのステージとかきものまつりの写真など、年に1回くらいは1面だけでもカラーにする必要性はあると感じています。



豊里 正治 さん
(本町 5・38歳)



池田 小雪 さん
(泉町・38歳)

市報での仲間づくり、読者間のネットワーク

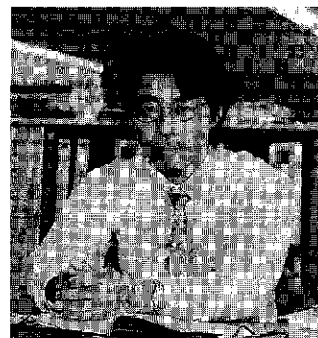
京都から嫁ぎました。外から入ってくる人間にしてみれば、「十日町の人になりました」というようなコーナーに出て自分のことを知ってもらうことが大切だと思います。それをきっかけに仲間づくりができるのですから。今はこのコーナーがなくなり残念です。友人に障害者を持つ母親がいます。その関係が障害者を持つ親との交流が多いのです。障害者も健常者も分け隔てのない社会をつくるために、市報を通じて障害者の現状や市としての障害者福祉の進め方などを特集すべきだと思います。また、お知らせコーナーは、情報を多く載せようという考えは伝わってくるのですが、文字が多過ぎて見にくいですね。

知らなかったのですが、市報は無料で全世帯に配られているんだそうですね。無料のものが意外に読まれない、なんていうことはないのでしょうか。

情報通信技術の進展と、新しい広報紙のあり方

私は会社でインターネットのプロバイダー(接続業者)「tiara」の管理をしています。最近の情報通信技術の進展は著しく、行政情報のあり方にも、速報性や、情報伝達手段の多様化、情報網の広がりやを踏まえた対応が必要です。

市報では市内向けの情報を扱っていますが、その中にも全国や全世界に向けて発信すべき情報が数多く含まれています。また最近では一般の人たちが地域情報の発信者として参入してきました。現時点で企業・個人を合せて20人程度がホームページを開設し、市内情報の発信をしています。こうした人たちと連携して、より効果的な十日町のPRができると思います。全戸配布される市報が今後も広報手段の柱であり続けることは確かですが、様々な情報通信手段と組み合わせることで、新しい広報紙のあり方も見えてくるとと思っています。



金崎 寛さん
(高山2・24歳)



上村直美さん
(土市4・27歳)

遊びの情報掲載で、若者に親しまれる市報に

会社で社内報を作っています。この社内報は建設業ということで現場仕事が多く、なかなか社内で話し合えない社員のコミュニケーションの場になればと平成2年から毎月1回発行しています。市報も市民のコミュニケーションの場という役割をもっていますよね。市民のページなどで多くの市民の声を拾っているようですが、こういうコーナーはもっともっと充実してほしいと思います。

ALTのコーナーを除けばみだしの拾い読みがほとんどです。若い人たちは遊びの情報がほしいんじゃないでしょうか。おいしいお店や遊びのスポットなど、利益誘導にならないように情報を掲載すれば読んでくれると思います。また、雑誌風に今号で読んでもらいたい目次のタイトルを目立つように記載するなど、表紙を開いてもらう工夫も大切なんじゃないでしょうか。

カタカナ語は禁物、わかりやすい言葉を使って

私のお気に入りの連載記事は「十日町市史を読む」です。市報が届くとまず特集記事に目を通し、次に市民のページ、お知らせコーナーと読み、「十日町市史を読む」が一番最後にとっておくんですよ。若手はなかなか読む時間がないようなので、お知らせコーナーに若手が必要な情報が出ていたりするとマーカーをしておきます。また、写真でつづるイベント記事などを読むと、自分でその現場に行っているような気持ちになりますね。

読んでいて感じるのは担当者も結構気を使って編集しているのですが、福祉の記事などにカタカナ語が多く使われていることです。私たちの年代にはわかりづらくて困ります。また、知人から言われたのですが、こういう時代ですから求人情報を載せるなどの工夫も大切ではないでしょうか。



上村シズさん
(新座1・71歳)



庭野恒男さん
(東京都板橋区・66歳)

投書欄を設けて、行政に対する市民の声を

十日町が近くなった。それは「ほくほく線」が開通したからではなく、「大好き十日町会」というメディアが市報も含めて十日町のホットな情報を提供してくれるからです。市報を読んで驚きました。尾身経済企画庁長官のルーツが鉢だったとは。「サンデープロジェクト」で自由党の元日銀政策委員・鈴木氏に攻撃されたのを見て、なんと頼りないことかと思っていましたが、その後見方がすっかり変わりました。最近のテレビで「7月から景気は回復する」という尾身さんの発言もにわかにリアリティーを帯びてきました。

板橋区の広報には、区民からの投書欄があります。しかし、十日町市の広報にはこのようなコーナーがなく、役所からの押しつけ情報ばかりのような気がします。もっと行政に対する市民の声を載せたほうがいいと思います。

心をいやしてくれる、故郷からの情報玉手箱

市報でもオープン前後の特集記事などで「当間高原リゾート」の様子を見ていましたが、先日念願がかなって「ホテルベルナティオ」に宿泊し、当間の自然を満喫してきました。都会の幻想が吹っ切れるような瀬の音、木々のざわめき、緑映える山里は初夏の兆しに包まれて、時のたつのも忘れるほどでした。市報には、私たち都会に住む者に安らぎを与えてくれる記事が満載されています。私にとって市報は、都会でのストレスをいやすなによりの特効薬です。

最近、ここ葛飾区と十日町市との交流が芽生えています。先月も柴又まつりに「大好き十日町会」ほかの方々から参加してもらい、おいにまつりを盛り上げていただきました。市報では市内のことと合わせ、こんな外との交流の様子なども記事として取り上げてほしいですね。



中島由美さん
(東京都葛飾区・65歳)



田口朋美さん
(本町1・32歳)

職員の声を載せることで、より身近かな広報紙に

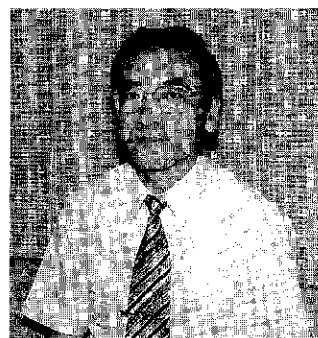
市報には二つの役割があると思います。一つは市の宣伝・PR。イベントや行事を確認するうえでとても楽しく見えています。もう一つは市政を確認するためのものです。予算の概要から人事異動まで、中には難解なデータもありますが、一通り目を通すように努めています。私は市報を読んで問題意識や疑問を持つことが、市とかかわる第一歩だと思っています。また、現在わが家には4歳と1歳の子供がいるので、健康診査や「ゆずります・ゆずってください」のコーナーは欠かせず見るようにしています。

今後の要望としては、職員の声をもっと載せてほしいと思います。具体的に言えば、行政マンとしてまちをこう考える、こういう仕事に取り組んでいるといったようなことを盛り込んでいったらどうでしょうか。

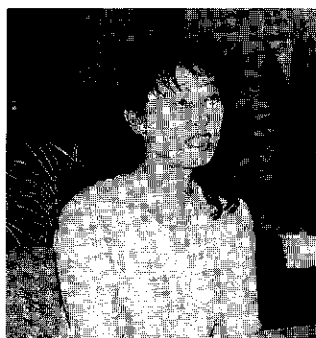
伝えるべき原点をみつめ、親しまれる紙面づくりを

J A十日町の広報紙を作っています。農協広報の核をなしているのは営農事業の推進です。これに「暮らし」「組合員登場」「農協・地域の出来事」などを折り混ぜながら16ページだての『J Aとおかまち』を毎月1日に発行します。

市報の場合であれば、市政を市民に伝えることが核になっているはずです。行政の情報をさらに親しみをもって読んでいただけるよう工夫を重ねる、そこに編集者の力量が問われているのだと思います。現在は行政・企業をはじめ数多くの広報紙が身のまわりにあふれています。このため家庭に配られるからといって必ずしも目を通して読んでいただけるわけではありません。その意味で表紙の出来や余白の使い方、紙面構成が大切な要素になるのです。基本に忠実に、親しんで読まれる紙面づくりに向けて共にがんばりましょう。



丸山正栄さん
(小泉3・45歳)



根津和美さん
(株滝沢印刷所勤務・37歳)

限られた時間で、最高の広報紙を目指して

私が入社したころは、広報担当の人から原稿をもらい、本文だけで校正に出し、直してから台紙にはってタイトルを入れていました。その後、手動写植から電算写植に変わり、作業も短時間でできるようになりました。文字やレイアウトの変更も容易になりましたが、直しの多さや時間のなさについカットとして、係の人になだめられるということもありました。変更が多いのはきっと良いものを作りたいという気持ちからですね。

市報は版下からフィルム、刷版になってから印刷され、断裁、折り、丁合をしてできあがります。この作業が2週間に1回のペースで行われます。もう少しゆとりをもって仕事をしたい、休日は休みたい、夜は早く帰りたいというのが実感ですが、グツとがまんしてこれからもがんばります。

トレーニング室 リニューアルオープン

— 利用には登録講習会の受講が必要になります —

総合体育館のトレーニング室が7月1日(水)にリニューアルオープンします。トレーニング室では、単なる施設の提供にとどまらず、市民の皆さんに効率よく、継続的にトレーニングをしてもらうために、コンピュータによるデータ管理と、インストラクターによる処方の修正と指導を行います。

そのためトレーニング室の使用にあたっては、初回使用時に登録講習会(要予約)の受講が必要となりますのでご案内します。

～ トレーニング室 利用までの流れ ～

＜予 約＞

- ①右下の「日程表」で講習会の日程を確認する。
- ②電話または来館のうえ、予約を入れる(先着順、定員あり)。

＜当 日＞

- ①受付で「トレーニング室使用券」を購入し(8月31日まで「無料登録講習会」のため不要)、レシートを受け取る。
- ②更衣室で、運動のできる服装、室内運動靴に着替える。
- ③講習会開始までに、レシートを持ってトレーニング室に集まる。
- ④登録講習会ではだれにでもできるビギナーコース(体ならしプログラム)を説明します。終了後(約1時間後)、「会員登録証」を渡します。これで、随時利用が可能になります。

＜利 用＞

- ①受付で「トレーニング室使用券」を購入し、レシートを受け取る。
- ②「レシート」と「会員登録証」をインストラクターに提出してトレーニング開始。
- ③トレーニング終了後、「会員登録証」はお持ち帰りください。

＜「個人プログラム」の処方を受けるには＞

個人の目的や体力レベルに応じたプログラムを作るため、体力測定を受けてもらいます。予約は直接インストラクターに申し出てください。

- ▶条件…①「会員登録証」をお持ちの人。
②「3か月以上トレーニング室使用券」を購入されている人。
▶体力測定は7月29日(水)から開始します。

■問合せ・申込み

十日町市総合体育館 ☎52-4377

■使用時間および休館日

(7月1日～8月31日)

	利用時間	休館日
月～土	13:00～21:30	第4火曜日 年末年始
日曜・祝日	9:00～17:00	

■使用料(トレーニング室使用券)

	一般・高校生	中学生
1回券	300円	150円
3か月券	3,000円	1,500円
6か月券	5,000円	2,500円
9か月券	6,000円	3,000円
12か月券	7,000円	3,500円

■無料登録講習会日程

	オープン前 登録講習会 (6/24～6/29)						オープン後 登録講習会 (7/1～8/31)						
	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	日・祝	月・水	金・火	木・土			
9:30～10:30	○	○	○	○	○	○	○						
11:00～12:00	○	○	○	○	○	○							
13:30～14:30	○	○	○	○	○	○	14:30～15:00	○					
15:00～16:00	○	○	○	○	○	○		○					
18:30～19:30	○	○	○	○	○	○							
20:00～21:00	○	○	○	○	○	○		○					

利用上の注意

- ▼トレーニング室の使用は中学生以上の登録講習会を修了した人に限ります。
- ▼トレーニング室使用券の販売は7月1日(水)から行います。販売は「会員登録証」をお持ちの人に限りません。
- ▼「施設使用券」をお持ちの人が購入する場合は、残期間の差額分をいただきます。
- ▼トレーニング室使用料には「施設使用券」の使用料が含まれます(個人・共同使用・ランニングコースの使用が可能です)。
- ▼詳しくは総合体育館受付で配布中の「トレーニング室ご利用の案内」等をご覧ください。

市議会にお出かけください

平成10年 第2回定例市議会

会期 6月10日(火)～18日(木)

第2回定例市議会が開催されています。6月11日以降の本会議日程をお知らせしますので、傍聴においでください。

■本会議 6月16日(火)・17日(水)・18日(木)

3日間とも午前10時開会です。

16日(火)・17日(水)は一般質問です。

質問者	質問事項
植口利明議員	・雇用、景気対策 ・今年度の優先事業
三輪定義議員	・市街地整備 ・県高度情報推進協議会設立に伴う対応 ・雇用対策
庭野茂美議員	・失業者対策 ・奨学融資制度 ・農業の雇用対策 ・大店法廃止に伴う関連法案の動向 ・市街地流雪清通水ルート改善
尾身隆一議員	・総合経済対策と地方財政 ・土地区画整理事業 ・市長の政治姿勢
村山隆太郎議員	・市道高山太子堂線の完成、稲荷町線の改良 ・信号機の設置 ・山間地農道の維持管理対策 ・エコクリーンセンターの余熱利用
河野辺久美子議員	・介護保険制度 ・ふれあい給食サービス ・登校拒否児童生徒対策事業 ・青少年の育成事業
小川元一議員	・米問題と農業施策 ・雇用対策 ・福祉施策
野上清議員	・医療福祉の費用問題 ・屋根雪処理対策 ・アートネックレス構想「花の道」づくり
大島清松議員	・リゾートステッピングアップ調査結果への対応 ・名誉市民推挙への対応 ・平和基金の活用 ・人口透析の実施機関・設備の拡充 ・市の情報インフラ整備

第16回 柴又まつりに初参加

5月31日(日)、寅さんの故郷でおなじみの柴又帝釈天を会場に「第16回柴又まつり」が行われました。今回は市内の5団体11人が葛飾区外の団体として初めて参加しました。

2万人の人数でにぎわう境内の一角では、当市名産のそばや米菓、味噌などの物産販売に高い人気が集まっていました。大好き十日町会と農協がチャリティーのために用意したお米2百kgのつかみ取りは帝釈天の門外まで長蛇の列ができるなど、魚沼米の根強い人気を物語っていました。また観光宣伝を兼ねたお楽しみ抽選会では、ベルナテイオ宿泊券などの賞品に加え、観光パンフレットを多くの人に配布して十日町を葛飾の皆さん



十日町の名産品に人気集中

に紹介することができました。会場では故郷をなつかしむ県内出身者から声をかけられたり、来年の参加要請を主催者から受けるなど、和やかなうちに交流を行うことができました。夏には葛飾の子供会の訪問も計画されるなど交流の輪は着実に広がりをみせています。

当間高原リゾート環境モニタリング調査結果の概要

——見守ろう 私たちの自然 私たちのリゾート——

当間高原リゾート環境監視委員会と(株)当間高原リゾートが実施した平成9年度環境モニタリングの調査結果の概要と活動内容をお知らせします。

当間高原リゾート

環境監視委員会の活動

十日町市は、リゾート開発や事業活動による公害を未然に防止し、良好な自然環境を保つことを目的として、5年5月に(株)当間高原リゾートと環境保全協定を結びました。委員会は、この協定に基づいて次の調査・活動を行っています。

■環境監視委員会の開催

9年度は2回開催しました。1回目は、水質検査を委託している(株)上越環境科学センターを視察しました。2回目は、9年度のモニタリング及び監視調査結果の報告、また、監視基準値の見直しや10年度の監視調査計画等について協議しました。

■水質検査立ち会い

調整池2か所、当間川、市之沢川、水沢川の河川3か所、井戸等の地下水8か所水質検査の立ち会いを行いました。立ち会いの期間は、9年4月～10年

3月の毎月1回です(降雪時の10年1月、2月は除く)。

■水質検査結果

全窒素、全リン、農薬、大腸菌群、PH(水素イオン濃度)など29項目について検査をしました。その結果、農薬は全く検出されませんでした。PH、大腸菌群などについては月によっては、水質目標値を上回った箇所がありました。しかし、再検査の結果、いずれも目標値を下回りました。

(株)当間高原リゾート

の活動

■動植物のモニタリング調査

事業活動による動植物への影響を把握する目的で実施しました。その結果、8年度との比較では大きな変化はなく、動植物に及ぼす影響はないものと評価されました。

■農薬飛散状況調査

農薬散布時の農薬飛散状況を把握し、周辺集落への農薬の飛散を未然に防止する目的で実施しました。全地域で農薬飛散粒子は確認されなかったことから、周辺住民に与える影響はないものと考えられます。

みんな、いきいき。

サークル交流録

PART 87

「楽しく、ゆっくり、私流に」
唱歌を歌って生き生きと

●歌声フレンズ●

このコーナーでは、登場していただくサークルを募集しています。
問い合わせは企画人事課広報広聴係 ☎57-3111 内線213へ。

私たち「歌声フレンズ」は、なつかしい小学唱歌を、スライドを見ながら、皆さん一緒に大きな声で歌ってもらうボランティアの会です。設立のきっかけは2年前にさかのぼります。皆さんから大きな声で歌っていただこうと、吉田地区公民館に健康福祉課の職員とアコーディオン奏者の

故山川幹雄先生と一緒に訪ねたことがあります。集まったお年寄りから、なつかしい唱歌をスライドを見ながら歌っていただきました。その時の参加者たちの生き生きとした顔、時に感動して涙をみせる姿は今でも忘れることができません。そんなに喜んでくれるのなら、時々何かの機会にやったらどうかと思い、この

スライドや手品の実演



「故郷」や「紅葉」の作詞家、高野辰之博士像と会員の皆さんで記念撮影

「歌声フレンズ」が設立されました。

歌う時には音階がはずれようが、どうしてもが気になることはありません。大きな声を出すことはストレスを解消し、心の健康にもなります。また小学唱歌は親子3世代と一緒に歌えることも魅力の一つです。

希望があれば団体や個人は問わず、市内はもちろん、市外にも出向いてなつかしい心の曲をお届けします。小学唱歌を歌いたい皆さんからの連絡をお待ちしています。

◆「歌声フレンズ」会員募集

年に1回でいいから、あなたの時間を貸してください。何も難しいことではないのです。一緒にスライドを上映し、唱歌を歌っていただける皆さんを募集しています。

◆写真講習会参加者募集

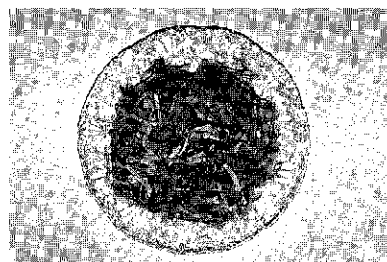
写真は歩歩けない人にその場の状況を伝えられる大切な手段です。そんな写真の撮影技術を高めませんか。

【連絡先】湯沢喜一 ☎52-3786、熊木五郎 ☎57-4082へ。

MENU ⑤

材料(6人分)

じゃがいも…中3個、にんじん…1/2本
糸みつば…1/2束、ストリングチーズ…2本
酢…大さじ2、醤油…大さじ2
砂糖…小さじ1、だし汁…大さじ2
A
練り辛子…小さじ1
サラダ油…大さじ2
塩・こしょう…少々



じゃがいもと チーズの和風サラダ

今はじゃがいもの芽がでる時期、あるものを利用しておいしくできる一品です。歯触りをよくするように、じゃがいもをゆで過ぎないのがコツ。お酒のつまみにも最高です。

作り方

①じゃがいもは皮をむいて細い千切りにし、熱湯にさつと通してすぐざるにあげ、水にさらして水気を切る。
②にんじんは皮をむいて細い

千切りにし、熱湯にさつと通してすぐ水にさらして水気を切る。みつばは4cm位の長さに切り、熱湯をかける。
③ストリングチーズはさいて長さを半分にする。
④ボールにAを合わせて、トレッシングを作り、①②③を和えて器に盛る。

※ストリングチーズの代わりにスライスチーズを細く切ってもよい。
※プロセスチーズを角切りにする場合、じゃがいも、にんじんも角切りにする。



滝沢 ハツさん
(春日町 | ☎57-6019)

このコーナーでは、登場していただく人を募集しています。問い合わせは企画人事課広報広聴係 ☎57-3111 内線213へ。

本気の本音

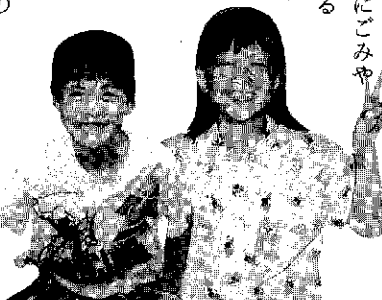
姉から弟へ・弟から姉へ
No. 27

姉 15分違いのお姉ちゃんなんです。洋平は少年野球ですごくがんばっているの。私が寝ている時に朝練なんかやっているみたい。でも、だらしないところが欠点。机の中にごみやプリントと一緒に靴下が入っていることもあるんだよ。それに私よりもずっと甘い坊や。夜なんか時々お母さんの布団の中に足を突っ込んで寝ていることがあるんだ。

弟 茜は結構がんばり屋で、足も速いし、一輪車にも上手に乗っているんだ。それに、ドリルなんて忘れた時は見せてもらうこともあるんだよ。逆に僕が見せることも、こんな時は双子って得だと思っちゃうな。でも自分のことを自慢ばかりするんだ。お姉ちゃんぶったり、大人ぶったりさ。こういうのを「おしやま」って言うんじゃないの。

このコーナーでは、登場していただく人を募集しています。問い合わせは企画人事課広報広聴係 ☎57-3111 内線213へ。

茜ちゃん、洋平くんは西小3年、お兄ちゃん（達也くん・6年）も含め、3人とも運動会のリレー選手になったと喜ぶお母さん（池田恵美子さん・春日町3）です。



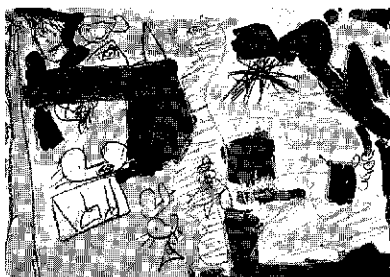
子供画廊

じょうずに描けたね!!

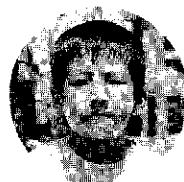
白梅保育園 159



小千谷の白山公園に遠足に行った時の絵だよ。みんなと長いすべり台にのって遊んだんだ。お姉ちゃんやお友達と食べたおやつがとってもおいしかったよ。



お父さんとお母さんと保育園のみんなと遠足に行ったの。私のとなりにはキティちゃんもいるよ。みんなですべり台やうんていで遊んだよ。また遠足に行きたいな。



小林優大くん
(5歳)



小海陽子ちゃん
(5歳)

私は7人兄弟の長女として生まれました。実の父は私が十日町実科高等女学校を卒業して間もなく亡くなっています。その時母は40歳、末の弟は2歳でした。女手で私たち兄弟を育ててくれた母には、今も感謝の気持ち絶えません。

卒業後も「この地に生まれ、この地に生きる」という思いで地元に残っていました。昭和22年に結婚。実家から向こう三軒離れただけの富井家に嫁ぎました。大声で母を呼べば返事が聞こえるほどすぐ近くです。あまりに実家が近く、一日に何回となく行き来したものです。そんな折、六箇村長様の勧めで中村にあった信用販賣購買利用組合（農協の前身）で働くことになりました。最初は週に3回のお手伝い程度、26年からは正職員



その昔
そして今
TOKAMACHI
No.99

富井スミさん
(六箇山谷) 71歳

このコーナーでは、登場していただく人を募集しています。問い合わせは企画人事課広報広聴係 ☎57-3111 内線213へ。

となり、58年の退職まで勤めあげることができました。

昭和20、30年代の六箇は山間地を有する純山村でした。そのころの地区民はご先祖様からいただいた土を愛し、農林業に精を出していました。養蚕組合、養豚組合などの組織を強化し、次第に経営の安定が図られていきました。養蚕は各月の大切な収入源で、特に春先の繭の出荷には大型トラックに山積みで運ばれたのを覚えています。肉豚の出荷風景や炭焼きの様子など、人々は額に汗しながら自然と共に生きてきました。

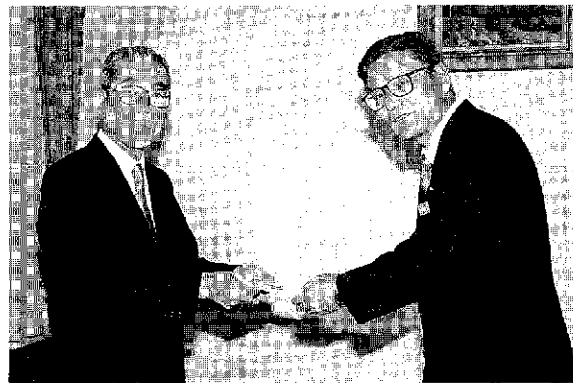
当時から数十年を経過した現在、六箇地区は年々道路も整備され、温泉郷として風光明媚な場所になりました。四季折々の憩いの里として県内外から多くのお客様が訪ねてくれます。私は子孫がこの地を愛し続け、21世紀に向けてさらに躍進することを願ってやみません。

版画「早春のせせらぎ」が 絵入り年賀はがきで登場

尾身伝吉さん（山本3）の版画「早春のせせらぎ」が、平成11年用の絵入り年賀はがき新潟県版のデザインに採用されました。これは信越郵政局が公募したもので、今回64人106点の応募作品の中から選ばれたものです。

採用作品は、六日町から見た魚沼の山々と雪解けの小川を題材に、厳しい雪国に住む魚沼の人々の春を待ちわびる気持ちが描かれています。「私が最初に版画に携わったのは十日町公民館の年賀状づくり教室がきっかけです。その後、うーぶばれんを結成。以来16年間、妻有の風景を残そうと作り続けてきました。新春の顔に採用され大変うれしい」と喜びを語っていました。

尾身伝吉氏の作品が年賀の顔に



長年続く寄付活動 合計金額48万円に

郡市交通安全対策協議会（会長・本田市長）では毎年、十日町自動車学校より寄付をいただいています。今年も5月7日（木）、須藤正男会長（写真左）から大島市民生活課長に3万円が手渡されました。これは昭和37年より続けられているもので合計金額は48万円になりました。

同協議会は十日町市、川西町、津南町、中里村で構成され、ドライビングスクールや暴走族追放運動、高齢者安全教室など様々な活動を行っています。寄付金はこうした交通安全事業に使われています。昨年の郡市内での事故発生件数は371件、死者数8人、傷者数429人。みんなが注意し、この数字を減らしましょう。

交通安全への温かい応援



ALTERNATIVES[®]

Earl Romero

アール・ロメロ

十日町総合高校、川西高校英語指導助手。
アメリカカリフォルニア州サンディエゴ出身。

It feels like summer is already here, because lately it has been so hot. I am hoping that I can do some surfing this summer, because it has been such a long time. Teaching English is going really well. I have so many good first year students, thank you and keep up the good work! I am trying to plan a trip to New Zealand, to see two of my best friends, do some snowboarding, and hopefully see the "All blacks" play in a rugby game. I hope that you all enjoy the summer and that everyone is doing well. Thank you.

ロメロ

最近、ずっと暑い日が続いているので、もう夏がやって来たかのような感じです。この夏は、長い間やっていないサーフィンができたかと思っています。英語の授業の方はとても順調に行っています。とても多くの優秀な1年生を今年も迎えることができました。君たちには感謝の気持ちを表したいとともに、今後もこの調子でがんばってくれることを期待します。今、ニュージーランド旅行を計画中です。そこで2人の親友に会い、スノーボードをやったり、できればラグビーの試合である有名な「オール・ブラックス」がプレイするのを見たいと思っています。それでは皆さんも夏を楽しんでください。ご機嫌よう。

ロメロ

水防月間に合わせ 信濃川工事事務所が開催

水防月間に合わせ5月24日(日)、クロス10で水防フェアが、また川口町やな場から長岡市妙見堰まで信濃川船上見学会が行われました。これは、市民から水防の意義や重要性について理解してもらおうと建設省が主催したものです。

水防フェアでは、水害写真や水防活動写真のパネル展示と合わせ、フリックス端末機によるデモが行われました。また、信濃川船上見学会には親子30人が参加。まず、昭和58年の大洪水で被害を受けた高山堤防で庭野重信さん(西寺町)から当時の話を聞きました。その後、あいにくの小雨模様の中でしたが、川口町やな場から約1時間の信濃川船下りを楽しみました。

水防フェア・信濃川船上見学



妻有荘のお年寄りが 「赤ずきんちゃん」に拍手喝采

パワフル一座(太田祐子代表)が5月23日(土)、特別養護老人ホーム妻有荘を慰問しました。慰問はまず、高橋則子さんのセミプロ級の歌で幕を開けました。続いて行われた寸劇「赤ずきんちゃん」は、森の精、花の精、風の精がオオカミに食べられたおばあちゃんと赤ずきんちゃんを助けるというものです。

寸劇終了後あいさつに立った太田代表は、お年寄りを前に「皆さんが築いてきた大切な自然や社会を森の精たちになって受け継いでいきたいと思えます。皆さん長生きしてください」とあいさつしました。一座の慰問を希望する人は太田祐子(☎57-1842)へ。

パワフル一座の施設慰問

骨のはなし

生涯健康な骨でいるために

5月11日(月)、市役所保健センターで、保健推進員会議が行われました。市では医療機関から遠く交通の便が悪い地域32か所に保健推進員制度を導入し、地域の健康の守り手として活動を行っています。

活動の一部として、年に何回か健康に関しての講演会に参加し、聞いた内容を地域の人に伝えていきます。今回この会議の中で、十日町病院整形外科部長の丸山俊行先生から講演していただきましたので、一部を紹介します。

「骨のはなし」

骨粗しょう症は、昔は年寄りの病気でした。しかし今は、生活の変化(特に偏食)により若い人にもみられます。発生率は、男性は70歳代以降に、女性の場合は特に閉経後に増加します。

日本一の健康都市をめざして
すこやかEG-HO

●問い合わせ
健康福祉課
健康増進係
☎57-3111

症状は、最初無症状ですが腰痛・背が縮む、さらには骨折しやすくなります。

では、骨粗しょう症を防ぐためにはどうすればいいのでしょうか。骨を強くする生活習慣を身に付けることです。そのポイントとしては①適度な運動を行う②食事の工夫をする③日光浴をする、の3点を取り入れることです。特に②の食事は大切で、カルシウムを多くとること、1日の量として800〜1000mgくらいは必要です。

「カルシウムを多く含む食品」

牛乳製品	牛乳、ヨーグルト、チーズ、カルピス
魚介類	わかさぎ、いわし、干しエビ、ししゃも、ひききし、さかなし
豆類	大豆、豆腐、とうふ、生揚げ、きなこ
野菜	小松菜、かぶ、木綿

おでん(特にがんもどき)、焼きはカルシウムを多くとれるうえ、栄養のバランスがすぐれています。味つけや調理の方法で食事はおいしくとれます。

また、カルシウムの吸収を良くするものにビタミンDがあります。これは食事として摂取したり、③のように日光浴をすることで形成されます。

以上のような内容を詳しく、わかりやすく話されました。

推進員自身も骨を丈夫にしておく大切さがわかり、それを地域に広めていく役割を再認識してもらえたようです。



おまちしてます
おじゃまします

だんわしつ
暖 和 室

6月24日(水)です
7月23日(木)です

時 間 午後7時～9時

(先着2組、1組50分)

会 場 市長室

申し込み 開催日の5日前までに企
画人事課広報広聴係へ。

※市長が皆さんの所へ出かけて話し
合う「おじゃまします暖和室」は
随時受け付けています。

寄付ありがとう

5月25日届け出分まで(敬称略)

◆地域福祉事業へ＝匿名(1,000,000
円・香典返し)川泉お客様一同(6,318
円)

◆社会福祉事業へ＝北新田婦人会
(45,058円) 匿名(3,000円) 匿名(1,
000円)

◆羽根川荘へ＝仲好会(6,500円) 中
条会(4,900円) 上原老人クラブ(700
円)

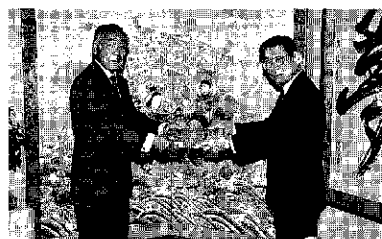
◆公民館本館へ＝内山トミ(本町4・
ビデオテープ) 直井たけ(宮下町東・
ビデオテープ) 十日町市公民館明石
学級生一同(タオル・雑きん)

◆公民館図書室へ＝酒井麻理子(山
谷) 水口輝生(五軒新田) 熊木五郎
(高田町1) 田口玄一(東京都) 有
限会社グリーンサム(寿町3)

◆博物館へ＝川村愛子(西本町1)
渡辺耕作(春日町2) 田中真治(春
日町1) 飯塚利平(水沢市之沢)

◆消防施設整備資金へ＝庭野誠助
(田中町本通り・200,000円)

◆情報館建設準備室へ＝利雪しんせ
つ協会(千代田町) 森林総合研究所
十日町試験地(川原町)



十日町ロータリークラブ(会長・島田一さん)
から情報館建設準備室に、続・日本の意匠(全
12巻・220,000円相当)が寄贈されました。

出 かけませんか

十日町市民音楽祭

■日時 6月27日(土)午後7時～(6
時30分開場) 会場 市民会館 入
場料 700円(中学生以下無料) 出
演 翠染会ほか 問合せ 公民館
本館(☎57-5011)へ。

十日町市美術協会会員展

美術館建設基金チャリティ小品展
を同時開催します。

■日時 6月20日(土)午前10時～午後
9時、21日(日)午前9時～午後4時 場
所 市民体育館 問合せ 社会教
育課(☎57-5011)へ。

おやこ劇場特別例会

■日時 6月25日(木)午後6時30分
会場 市民会館 内容 人形劇団

どろいおはなのや

あじさいのまき

■日時 6月27日(土)午後3時～4時
会場 公民館本館 内容 絵本、
おはなし、パネルシアターほか 問
合せ 公民館本館図書室(☎57-5
011)へ。

6月「子供映画会」

■日時 6月27日(土)午前10時～ 場
所 少年育成センター 内容 1月の
輪グマ、おかあさんのやさしい手
入場料 無料 問合せ 少年育成セ
ンター(☎57-8918)へ。

〇三情報(職員募集)

◆社会福祉法人妻有福祉施設職員

募集 ●職種・資格 作業指導員

1人(昭和37年4月2日以降生まれ
の作業療法士の資格を有する人)、作
業指導員助手兼事務員・若干名(昭
和32年4月2日以降生まれの社会福
祉士または社会福祉主事の資格を有
する人) ●申込み 6月15日(当
日消印有効)までに養護老人ホーム
妻有荘(幸町☎58-2050)または
は精神障害者入所施設施設エンゼル
妻有(塚原町☎52-0050)へ。

◆10年度国家公務員採用III種試験
(郵政) ●職種 郵政事務A、郵政
事務B ●資格 昭和48年4月2日以
降56年4月1日までに生まれた人 ●
問合せ 十日町郵便局総務課(☎52
-2391)へ。

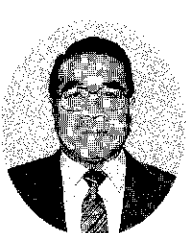
◆郵政職員採用試験 ●資格 昭和
39年4月2日以降58年4月1日まで
に生まれた人(学歴・性別不問) ●
問合せ 十日町郵便局総務課へ。

◆税務職員(税務大学校生)募集
●受験資格 昭和53年4月2日から
56年4月1日までに生まれた人 ●受

ご存知ですか? 人権擁護委員制度

人権擁護委員制度は、国民の基本
的人権を擁護し見守るいわば民間人
による人権の番人制度です。人権に
ついての心配ごとや困りごとがあり
ましたらお気軽にご相談ください。

法務大臣から感謝状



根 津 清 治 さん
(本町6-2)

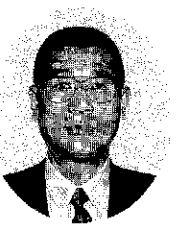
根津さんは平成元年から10年まで
の9年間、人権擁護委員として活
躍されました。この功績により、5
月1日付けで法務大臣から感謝状が
贈呈されました。長年にわたりご苦
勞様でした。

新(再)任の人権擁護委員の皆さん

南雲徳榮さん(関根1 ☎57-23



再 村山一代さん
(為 永 ☎55-2563)



新 松井定延さん
(美雪町3 ☎57-4632)



新 柳カズエさん
(山 谷 ☎57-1414)

ゆずります ゆずってください

*消費者協会（市民生活課生活環境係）へ

品名	規格	希望価格
米びつ付き台所用棚	コンセント付き 少人数用	5千円
ナイロン製バッグ	縦35cm横43cm 色グリーン・生体新品	無 料
ルームランナー	旧 式	2千円
パ イ ク	ホンダ90cc 10年2月購入	相談で
学習机・椅子	高校生まで使用可	無 料
編 み 機	トヨタK-109	//
カセットデッキ2台	①アイワ ②ニクスター	//
FM・AMチューナー		//
テ レ ビ	18インチ	//
レ コ ー ド 盤	ドーナツ型LP盤 曲多多彩	//
ベビーベッド		3千円
ベビーカー		3千円位
ベビー用バックおんがき		//
チャイルドシート		無 料
ベ ビ ー バ ス		1千円位
ベビー用テーブル・椅子		5千円位
窓 型 エ ア コ ン	コロナCW160 約1畳1台使用	2万円以内
布おむつカバー新品	50cm2枚、60cm2枚	4枚で2千円
ポケットゲーム機新品	スティーブス、バド ムシ、コナミ	3つで2千円
サ ツ シ 窓	大2枚、小2枚の14枚	無 料
編 み 機	シャープ パリエ811	2千円
加 湿 機	シャープ ヒーターHV41-D	5千円位
除 湿 機	日立RD450-L	3千円位
ハウス型テント	未使用5人用	相談で
衣 類 乾 燥 機	シャープ 4.5kg用新品同様	4万円
家庭用トレーニングマシン		相談で
パーソナル無線	ケンウッド	//
英 会 話 教 材	カセットテープ3巻 家庭用のドット	相談で
フ ァ ッ ク ス	パナソニック JF-45	//
ワ ー プ ロ	1年間のもの シャープWD-M500	4万円位
ワ ー プ ロ	シャープ 書庫W500	相談で
本 棚	横1m、奥25cm	//
綿 布 団	掛け布団2枚 敷き布団1枚	無 料

品名	規格	希望価格
ワ ー プ ロ		相談で
ワ ー プ ロ	シャープ WD-A85C	2万5千円以下
婦人用自転車 2台		無 料
// 2台		相談で
全自動洗濯機		7千円位
食 器 棚		7千円位
2 段 ベ ッ ド	子供用、木製	相談で
食卓用テーブル・椅子	6人用	//
空 手 着	6年生男子用	//
絵本 小学生用	作者蔵書活字の もの何でも	//
椅 子	子供用食卓椅子	無 料
小 型 冷 蔵 庫	1人用	相談で
子供用自転車	14～16インチ 男女兼用	//
カ メ ラ	1眼レフ	3千円
地 球 儀	ロシアの入って いる大きいもの	相談で
天 体 望 遠 鏡		//
パ イ ク	90～125cc	//
紙 お む つ	大人用パンツ型 20枚入4パック位	無 料
ウ ク レ レ	フレット部分が 鉄のもの	3千円
ソルディックスキー1式	靴20cm前後	無 料
マウンテンバイク	低学年用	//

◆6月は土砂災害防止月間です。
危ないぞ！油断大敵がけ崩れ、あ
なたのまわりの「がけ」に注意して
ください。

◆家屋の取り壊しや異動は手続きを
●対象①家屋の全部または一部を
取り壊した人②未登記家屋（法務局
に登記していない建物）で売買・贈
与・相続などで異動があった場合●
問合せ〓税務課資産税係へ。
（☎52-3111）

◆犬の散歩は必ず綱を引いて
城が丘ビュアランドで犬の散歩を
している人が、首輪から鎖を外して
運動させ、犬が民家の敷地に入つた
り、人に飛び付いたりして危険であ
るという苦情がありました。犬の散
歩中は必ず綱を持ち、他人に迷惑の
かからないようにしましょう。

◆赤十字救急法
救急員養成講習会
開催日時〓7月25日（土）・26日（日）、8月
1日（土）・2日（日）午前9時30分～午後
5時30分 開催場所〓サンクロス十日町
5時30分 受講資格〓満15歳以上で、全日程
に参加できる人 受講料〓30人参加
費〓2千円 申込〓7月10日（金）ま
でに市役所内十日町市社会福祉協
会へ。

◆在宅介護マンパワー養成研修会
～ホームヘルパー3級課程～
開催期間〓7月14日（火）を初回に9回
開催場所〓クロス10 ほか 受講料〓50
人参加費〓6千5百円 申込〓7月
6日（金）（当日消印有効）までに
往復ハガキに（往信裏面）①住所②
氏名③生年月日④電話番号⑤職業⑥
ホームヘルパー従事希望の有無（返
信表面）返信宛て先を記入し、十日
町地域福祉センター（〒948-0003
7日町市妻有町西2-1 ☎57-5
517）へ。

◆新規学卒者激励のつどい
開催日時〓7月1日（火）午後3時～開
場〓クロス10 申込〓7月1日ハローワ
ー十日町（☎57-2407）へ。 ※
各事業所単位の申込みになります。

◆スイングスクール
一般開放
開催日時〓平日・午前11時～午後1時
30分、午後7時40分～9時（ただし
高校生以上）日曜・正午～午後4時
●料金〓大人・4200円、中・高生
・3100円、小学生以下・2100円
（3歳未満は無料） 問合せ〓十日
町体力づくりスイングスクール（☎
58-3343）へ。

◆三情報（保健）
◆痴癡性老人介護相談 ●日時〓6
月19日（金）午後2時～4時 場所〓十
日町保健所 ●担当医〓須賀医師（中
条病院） ●相談料〓無料 問合せ〓
十日町保健所（☎57-2400）へ。
◆心の健康相談 ●日時〓6月30日
（火）午後1時30分～3時 場所〓十日
町保健所 ●問合せ〓十日町保健所ま
たは健康福祉課保健予防係へ。

◆三情報（保健）
◆工業実態基本調査にご協力を
6月30日現在で、全国一斉に「商
工業実態基本調査」が行われます。
この調査は日本の工業及び商業の経
営実態を明らかにし、中小工業施
策の基礎資料を得ることを目的にし
た法律に基づく指定統計調査です。
調査の範囲は製造業、卸売・小売業
及び飲食店のうち通商産業大臣が指
定する企業で、市内では133の企
業が調査対象です。調査員が6月下
旬にお伺いしますので、ご協力くだ
さい。 ●問合せ〓総務課文書統計係
へ。

◆女性学・ジェンダー
研究フォーラム
女性学や男女の固定的な役割分担
意識の解消の研究、女性の人材開発
に関する研究・教育・実践活動の課
題や成果を出し合い情報交換をし
ます。 ●開催日時〓8月7日（金）～9日（日）
場所〓ヌエック国立婦人教育会館
（埼玉県） ●申込〓6月25日（木）ま
でに企画人事課企画係へ。

◆赤十字救急法
救急員養成講習会
開催日時〓7月25日（土）・26日（日）、8月
1日（土）・2日（日）午前9時30分～午後
5時30分 開催場所〓サンクロス十日町
5時30分 受講資格〓満15歳以上で、全日程
に参加できる人 受講料〓30人参加
費〓2千円 申込〓7月10日（金）ま
でに市役所内十日町市社会福祉協
会へ。

◆在宅介護マンパワー養成研修会
～ホームヘルパー3級課程～
開催期間〓7月14日（火）を初回に9回
開催場所〓クロス10 ほか 受講料〓50
人参加費〓6千5百円 申込〓7月
6日（金）（当日消印有効）までに
往復ハガキに（往信裏面）①住所②
氏名③生年月日④電話番号⑤職業⑥
ホームヘルパー従事希望の有無（返
信表面）返信宛て先を記入し、十日
町地域福祉センター（〒948-0003
7日町市妻有町西2-1 ☎57-5
517）へ。

◆スイングスクール
一般開放
開催日時〓平日・午前11時～午後1時
30分、午後7時40分～9時（ただし
高校生以上）日曜・正午～午後4時
●料金〓大人・4200円、中・高生
・3100円、小学生以下・2100円
（3歳未満は無料） 問合せ〓十日
町体力づくりスイングスクール（☎
58-3343）へ。

◆三情報（保健）
◆痴癡性老人介護相談 ●日時〓6
月19日（金）午後2時～4時 場所〓十
日町保健所 ●担当医〓須賀医師（中
条病院） ●相談料〓無料 問合せ〓
十日町保健所（☎57-2400）へ。
◆心の健康相談 ●日時〓6月30日
（火）午後1時30分～3時 場所〓十日
町保健所 ●問合せ〓十日町保健所ま
たは健康福祉課保健予防係へ。

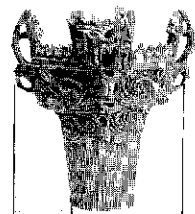
◆三情報（保健）
◆工業実態基本調査にご協力を
6月30日現在で、全国一斉に「商
工業実態基本調査」が行われます。
この調査は日本の工業及び商業の経
営実態を明らかにし、中小工業施
策の基礎資料を得ることを目的にし
た法律に基づく指定統計調査です。
調査の範囲は製造業、卸売・小売業
及び飲食店のうち通商産業大臣が指
定する企業で、市内では133の企
業が調査対象です。調査員が6月下
旬にお伺いしますので、ご協力くだ
さい。 ●問合せ〓総務課文書統計係
へ。

◆女性学・ジェンダー
研究フォーラム
女性学や男女の固定的な役割分担
意識の解消の研究、女性の人材開発
に関する研究・教育・実践活動の課
題や成果を出し合い情報交換をし
ます。 ●開催日時〓8月7日（金）～9日（日）
場所〓ヌエック国立婦人教育会館
（埼玉県） ●申込〓6月25日（木）ま
でに企画人事課企画係へ。

◆在宅介護マンパワー養成研修会
～ホームヘルパー3級課程～
開催期間〓7月14日（火）を初回に9回
開催場所〓クロス10 ほか 受講料〓50
人参加費〓6千5百円 申込〓7月
6日（金）（当日消印有効）までに
往復ハガキに（往信裏面）①住所②
氏名③生年月日④電話番号⑤職業⑥
ホームヘルパー従事希望の有無（返
信表面）返信宛て先を記入し、十日
町地域福祉センター（〒948-0003
7日町市妻有町西2-1 ☎57-5
517）へ。

◆新規学卒者激励のつどい
開催日時〓7月1日（火）午後3時～開
場〓クロス10 申込〓7月1日ハローワ
ー十日町（☎57-2407）へ。 ※
各事業所単位の申込みになります。

◆スイングスクール
一般開放
開催日時〓平日・午前11時～午後1時
30分、午後7時40分～9時（ただし
高校生以上）日曜・正午～午後4時
●料金〓大人・4200円、中・高生
・3100円、小学生以下・2100円
（3歳未満は無料） 問合せ〓十日
町体力づくりスイングスクール（☎
58-3343）へ。



十日町市史を読む

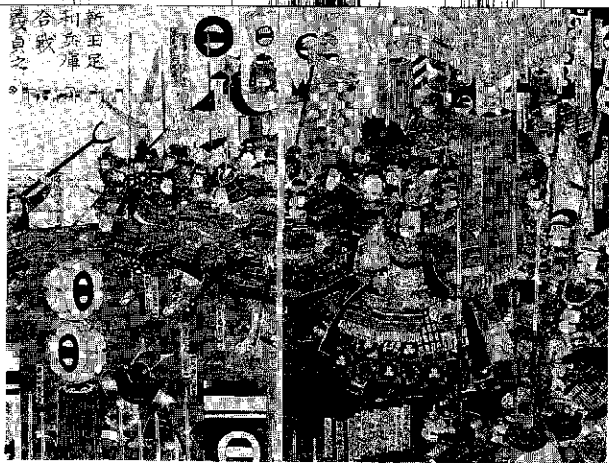
15

大井田一族の活躍

博物館

大井田氏は、里見義成の次男義継が新田荘大島郷を得て名乗った大島氏を次男の時継につがせたのちに、自身で名乗ったものです。大井田は市内の田川以北が、大井田郷と呼ばれていましたから、この地名を名乗ったものとみられます。鎌倉時代の後半には、北信濃の豪族・市河氏と婚姻を結ぶなど、勢力を広げていました。

元弘三年(一二三三)五月、新田義貞は、鎌倉幕府を倒すた



新田義貞と越後の将兵

めに兵をあげました。大井田経隆は、里見・田中・羽川ら越後の新田氏一族とともに、真つ先にかけてつきました。大井田一族は、鎌倉攻後も義貞にしたがつて、各地を転戦しました。

大井田氏が勇名をとどろかせたのは、福山城(岡山県・山手村)の合戦でした。建武三年(延元元年、一三三六)三月、京都の攻略に失敗した足利尊氏は、九州で再起をはかり、大軍を率いて東上してきました。尊氏の弟直義は三十万といわれる大軍の指揮をとり、陸路を進みました。

新田義貞は、大井田経隆の長男・氏経を先鋒に命じて、山陽道を進ませました。氏経は、備前国(岡山県)船坂城を攻め落とし、さらに進んで備中国福山城に陣をとりました。

大井田勢は、わずか二千騎ばかりでした。氏経は、千余騎を率いて、敵将・直義だけを目指して、大軍の中にかかりました。足利勢を食い止めることはできませんでしたが、大井田氏経と越後勢の勇猛ぶりを天下にとどろかせました。

(通史編1 中世の妻有)

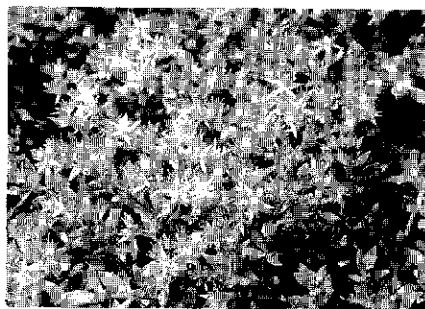


Baby

すこやかちゃん

宮澤 舞ちゃん 平成8年4月5日生まれ 小黒沢

おしゃべりだけどはがしがり屋。そんな舞ちゃんは毎日楽しく森の保育園の杉の子組に通っています。保育園で習った踊りをテレビの曲に合わせて家族みんなに披露したり、その日の出来事をくわしくお話ししてくれます。舞ちゃんはお絵かきや絵本も人好き。何事にも集中して遊ぶ舞ちゃん、これからも元気で素直に育ってね。



とおかまち
自然

135

ツルマンネングサ

日差しが強くなり、夏の到来が肌で感じられる季節になりました。天気の良い日に歩いていると、人家の石垣や河の土手に黄色から緑色に輝く芝生のようなツルマンネングサをよく目にします。

ツルマンネングサは中国・朝鮮が原産の帰化植物で、日本には古くから帰化し野生化した多年草です。茎は紅色を帯びた多肉質の円柱形で、長く地上をはい、花を付けた茎は斜めに立ち上がっています。葉は多肉質で3枚ずつ輪になって付くのが普通ですが、ごくまれに2枚ずつ向かい合ったり、1枚ずつ互い違いに出たりします。また、5枚の花びらをもった黄色い花は15~60個が傘状に集まっています。この花には一般に種子はできないそうです。

万年草の名は「いつまでも枯れずに同じまま」から付いたといひます。

十日町市民の動き

(5月末日現在)

■人	□	44,666人(前月比 -13)
	男	21,941人(〃 -8)
	女	22,725人(〃 -5)
■世帯数		12,956 (前月比 +9)

ホットひと息

編集室

「市民の皆様から市政について理解していただく」と同時に、市政に対する批判や意見を聞かせていただく。発行に際しての山口市長のあいさつです。時とともに言い回しは違ってきているものの「一市報とおかまち」の役目は同じです。とは言っても、読んでいただければただの紙、それに両面印刷してありますからメモ紙にもなりませう。それじゃいかん、と代々の担当者頭を悩ませながら広報紙づくりに努めてきました。今回、5000号を節目に座談会と取材を通して診断していただきました。私たちは診断結果を、入院まではいなくても要通院と受け止めています。皆さんも縦じ込みのアンケートを通して診断してください。表紙に太勢の人たちがいますが「皆さんと歩んだ5000号」という思いをイラストで描きました。よく見ると歴代7人の市長がいいますよ。付録に私たち「おかまち」通院はもうしなくていいよ、と皆さんに言われるようになっていくので、これからも市報を監視のほどお願いします。